

メールニュース

No.20-32
2020年6月24日

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

現行日米安保条約発効 60 年 大軍拡よりコロナ対策・国民生活に 安保中央・東京 新宿西口で宣伝・署名行動

日米安保の問題を訴える
東森事務局長（写真右）



安保破棄中央実行委員会の東森英男事務局長は、日米安保条約と日米地位協定が発効して 60 年となる日であることを訴え、安保条約の問題を考えようと呼びかけました。そして、陸上配備型のミサイル防衛システムであるイージス・アショアの計画が停止になったことについて、地元住民をはじめ世論と運動の成果であると強調し、さらに巨大な費用を要する辺野古新基地を中止し、財源をコロナ対策や国民生活に回せと訴えました。

安保破棄中央実行委員会・東京実行委員会は 6 月 23 日、「日米安保条約発効 60 年 6.23 行動」を東京・新宿駅西口でおこないました。

行動には 8 団体から 15 人が参加、ハンドマイクで訴え、辺野古新基地反対と日米地位協定抜本改定の署名をおこないました。

全労連、日本平和委員会、戦争させない市民の会の代表が、辺野古新基地中止、「思いやり予算」廃止、沖縄県民との連帯をそれぞれ訴えました。

— 辺野古新基地 サンゴの採捕許可問題 — 国地方係争委へ団体署名 307 通

国地方係争処理委員会は 6 月 19 日、沖縄防衛局が沖縄県に対して申請し、沖縄県が決定を保留しているサンゴの採捕許可について農林水産大臣の是正の指示が違法でないとし、沖縄県の訴えを却下する不当な決定を行ないました。安保破棄中央実行委員会が呼びかけた国地方係争処理委員会に沖縄県の訴えを認めるよう求める団体署名は、国地方係争委が不当な決定をおこないましたが安保中央に 307 通（24 日正午現在）が寄せられました。



嘉手納基地の消火剤噴出（18 年 5 月）

沖縄の嘉手納・普天間基地、東京・横田基地などの米軍基地で、有機フッ素化合物の流失事故が発生しています。米軍への徹底した流失調査・再発防止と地位協定改定が求められています。基地周辺では高濃度の PFOS や PFOA が検出されたことがメディアで報道されています。沖縄や東京の飲料水に使っている井戸水からも高濃度で検出されています。環境省の H P には全国各地の PFOS 及び PFOA 全国存在状況把握調査結果一覧が掲載されています。安保中央が全国のワースト 10 と東京のワースト 3 をまとめてくれましたので下記に掲載します。

「令和元年度 PFOS 及び PFOA 全国存在状況把握調査結果一覧」 全国のワースト 10

1	大阪府	摂津市	地下水	1855.6 ナノグラム/リットル
2	沖縄県	沖縄市	河川	1508.1 ナノグラム/リットル
3	沖縄県	宜野湾市	湧水	1303.0 ナノグラム/リットル
4	沖縄県	中頭郡	湧水	1188.0 ナノグラム/リットル
5	沖縄市	宜野湾市	湧水	815.3 ナノグラム/リットル
6	東京都	調布市	地下水	556.0 ナノグラム/リットル
7	沖縄県	沖縄市	河川	475.0 ナノグラム/リットル
8	千葉県	白井市	河川	349.2 ナノグラム/リットル
9	東京都	立川市	地下水	337.2 ナノグラム/リットル
10	東京都	府中市	地下水	301.8 ナノグラム/リットル

東京都のピーフオス+ピーフォアの調査結果、ワースト 3

1	調布市	地下水	556.0 ナノグラム/リットル
2	立川市	地下水	337.2 ナノグラム/リットル
3	府中市	地下水	301.8 ナノグラム/リットル

政府の決めた環境基準は 50ng/L です。

PFOS・PFOA の流失問題
徹底調査と地位協定改定を